

ジオパーク地域	代表者	協議会設立年月日	組織体制民間の有無	年度予算(H30年度)	主な予算項目	協議会スタッフの人数(専門員・国際交流員の数)	ジオパーク活動を推進するための工夫点	他地域の参考となると思われる事項(割合101になるように)				
アポイ岳	様似町長	2008年7月7日	有	51,254,000	1.情報発信事業 2.企画広報宣伝事業 3.人材育成事業	10人	1.ビジターセンター内にジオパーク理念や活動、世界分布状況などを掲示している 2.洞爺湖有珠山GPと共同事業を立ち上げるなど、協力している 3.アポイ岳GPのガイドブックを改訂し、訪問者が巡る上で有用な内容とした	地域振興	観光振興	教育振興	防災	その他
						専門員4人:国際交流員1人:専任8人		2	2	3	1	2
洞爺湖有珠山	洞爺湖町長	2010年2月26日	有	17,765,000	1.協議会運営 2.ブランド構築 3.活動普及事業	4人	1.見どころ紹介施設での案内情報量アップ 2.事務局内の地球科学専門員を公募した	地域振興	観光振興	教育振興	減災・防災	その他
						専門員0人:国際交流員0人:専任4人		2	2	2	2	2
糸魚川	糸魚川市長	2008年10月9日	有	12,360,000	1.教育・防災事業 2.地域振興事業 3.事業進行事業	14人	1.自治会の役員会等に参加し、地域におけるGP活動への支援策を協議 2.ガイド研修、意見交換会、他地域ガイドとの交流研修会等の定期的な実施 3.インバウンド向け講座・WSの開催、指差し対話カードの作成・普及啓発	保護・保全	教育・防災	地域振興	事業推進	
						専門員0人:国際交流員0人:専任7人		2	3	2	3	
南アルプス	伊那市長	2012年2月24日	有	2,700,000	1.普及啓発活動 2.JGN負担金 3.旅費交通費	4人	1.地域を行き来するツアーの企画や共通イベントの実施 2.学校教育、生涯学習教育等での活動の強化、ツアー・講座の実施等 3.ジオガイドに対しスキルアップ講座の実施。また、ツアーに限らず講座での講師としての活用	保護・保全	研究・教育	地域振興	その他	
						専門員1人:国際交流員0人:専任3人		3	3	3	1	
山陰海岸	豊岡市長	2007年7月16日	有	49,700,000	1.協議会雇用職員人件費 2.イベント開催日 3.ネットワーク活動費	12人	1.10年間のGP活動の振り返りや将来の方向性を議論し、解決策を見いだしていくための対話、協議会の専門部会と一緒に話し合う合同部会の開催、ユネスコガイドライの勉強会、構成市町のジオパーク担当課をまじえた府県市町連携会議の開催頻度と質の向上、拠点施設情報共有会の再開、公認ガイド認定制度の見直しなどの取組みを強化している。	情報共有・議論	地域振興	教育	保護保全	その他
						専門員1人:国際交流員0人:専任12人		2	2.5	2	1.5	2
室戸	室戸市長	2007年7月16日	有	110,664,000	1.人件費 2.旅費 3.啓発活動費	21人	1.ガイド養成講座の実施と「認定ガイド」制度の導入 2.既存宿泊施設との連携、民泊の導入、青少年の家との協定に基づく連携 3.国際交流員による英語対応事業(バス停の英語表記、レストランメニューの翻訳など)	ボトムアップ体制の構築	社会教育活動	青少年の家との連携	GPマスター講座の実施	GPガイド養成講座実施
						専門員3人:国際交流員1人:専任7人		2	2	2	2	2
島原半島	島原市長	2008年2月14日	有	26,340,000	1.人件費 2.旅費 3.委託料	6人	1.協議会員に対する講話や自治体担当者に対する情報共有、GP活動やイベントの紹介をニュースレターで行った。 2.自治体と協力、業務の実施がスムーズに行くような人員異動を行った。 3.ジオストーリー作りへのサポートや他の事例を学ぶ機会の提供を行い、GPガイドの質の向上を図った。	地域振興	教育振興	観光振興	防災	その他
						専門員2人:国際交流員0人:専任5人		3	3	2	1	1
ふくい勝山	勝山市長	2009年4月1日	有	2,910,100	1.委託料 2.負担金 3.旅費	9人	1.GP学習支援事業として、学校を対象として講師派遣及びバス代や発掘体験料の補助を行っている。また、GP学習の最後に参加者に今日学習したことを家族に伝えてもらう宿題を課している。 2.教育委員会職員や教員との協議を通じて、講演を行っている。 3.ガイド自身がストーリーなどを考えるガイド養成講座を実施している。	まちづくり活動	地域振興	教育	研究	ネットワーク
						専門員1人:国際交流員0人:専任4人		2	2	3	1	2
隠岐	隠岐の島町長	2009年6月15日	有	62,813,000	1.情報発信事業 2.企画広報宣伝事業 3.人材育成事業	9人	1.各町村の区長会等に出向いて、地域学習にGPを活用できる旨を案内している。 2.幼稚園や小中学校の教育を積極的に行うことで、親世代への浸透を目指している。 3.認定ガイド制度を設定し、ジオツーリズムに対応できるガイドの育成と質の向上を行っている。	地域振興	観光振興	教育振興	防災	その他
						専門員2人:国際交流員2人:専任9人		2.5	3	2.5	1	1
阿蘇	阿蘇市長	2009年5月9日	有	26,132,135	1.人件費 2.再認定審査経費 3.旅費交通費	6人	1.事務局スタッフ(外国語の堪能な職員、地球科学専門員)を確保した。 2.国、県、市町村の振興計画と連携を強化している。 3.阿蘇GPブランドの認定、GP地域講座の実施など	啓発活動	行政との連携	施設や大学等との連携	観光振興	ガイド研修
						専門員1人:国際交流員1人:専任4人		2.5	2	1.5	2.5	1.5
白滝	遠軽町長	2015年6月30日	有	3,940,000	1.普及宣伝費 2.ガイド育成 3.教育連携、研究助成	4人	1.遠軽地域でのGP普及イベント「GEO Cafe」の開催 2.ガイド組織との連携したツアーを実施 3.町内での案内板、案内パネルを設置	資源の保全	教育、研究活動の推進	経済活動	ネットワーク	防災
						専門員0人:国際交流員0人:専任1人		3	3	1	2	1
伊豆大島	大島町長	2010年9月14日	有	19,532,000	1.整備事業 2.旅費交通費 3.人材育成費	4人	1.役場職員意外のGP関係者を主とする「調査研究支援窓口」を設置することで、土砂災害後に調査に訪れた研究者との連携体制を築き、GP活動に取り組んだ。 2.若年層の取り組みは困難であるが、実験イベントで児童生徒へ関わりを増やして島の将来を担う子どもたちの島への関心を高めたりしている。 3.自分たちでできる整備やソフト部分を極力自前でやっている。	環境保全	防災教育	人材育成	環境整備	
						専門員1人:国際交流員0人:専任4人		3	3	2	2	
霧島	霧島市長	2008年10月14日	有	1,019,000	1.旅費 2.委託料 3.負担金補助及び交付金	5人	1.各自治体担当者へのレクチャ、全国大会や全国研修会などのイベントへの参加 2.エリアの拡大を検討。同時に桜島・錦江湾GPとの統合も検討 3.シンポジウム、交流会の開催など	地域振興	教育振興	観光振興	防災・減災	その他
						専門員1人:国際交流員0人:専任0人		2	3	2	2	1
磐梯山	北塩原村長	2010年3月4日	有	19,100,000	1.人件費 2.広報活動費 3.人材育成費	3人	1.ジオパーク支援員制度の検討					
						専門員1人:国際交流員0人:専任3人						

下仁田	下仁田町長	2010年3月20日	有	19,703,091	協議会に予算が無い ため、自治体で運営(4 人分人件費含む)	6人	1.HPなどでお客さんに「地質以外」も含めたツアーを宣伝する。 2.一方的な住民説明会ではなく住民座談会として昔の話を聞き出し今の文化や昔の産 業の自然との関わりを知ってもらいGPを身近に感じてもらう。 3.審査体制が現地のニーズと合っていないことがあり、地域が困惑する場面があったの で、審査体制が改善してもらえるように状況をJGNIに情報共有している。	教育活動	学術資料 の蓄積	世界遺産、他プラ ンドとの連携			
						専門員2人:国際交流員0人:専任4人		5	3	2			
白山手取川	白山市長	2010年11月18日	有	26,578,000	1.情報発信事業 2.旅費 3.教育研修事業	7人	1.親子プログラムの実施により、子どもや親世代へGPの普及を図る。 2.雪があればそのツーリズムを検討 3.日本郵便白山部会へのGP研修会 4.継続した仲間集めと引き継ぎしやすいツール作成を検討	地域振興	普及啓発	教育振興	防災	その他	
						専門員2人:国際交流員0人:専任7人		3	2	3	1	1	
秩父	秩父市長	2010年2月22日	有	8,010,000	1.事務局費(報酬・旅 費等) 2.広報宣伝活動事業 3.解説看板等作成事 業	5人	1.2017年にGP秩父のエリアと同一エリア内の関係団体で組織する法人にGP事務局を 移管し、活動の広がりを図った。 2.旅行業の登録を有する上記法人に移管したことで、ツーリズム関連事業の実施 が強化された。 3.新たなパンフレットの作成に伴い、ジオサイトとGPテーマの見直しを行った。	ネットワーク	PR活動全般	ジオツアー	研修会	学校勉強会・子 どもイベント	
						専門員1人:国際交流員0人:専任1人		1.4	1.3	2.1	2	1.8	
						ガイド養成		視察	保全・防災	割合はH29秩父GP活動 実績の事業数から算出			
						0.2		0.8	0.4				
男鹿半島・大湯	男鹿市長	2010年3月25日	有	7,055,000	1.旅費交通費 2.印刷代等需用費 3.負担金・補助金	6人	1.ガイドのスキルアップを目的とした講座で、外国人から見たガイドの視点やインパ ウンドに対応した研修を実施予定 2.雨天時のジオツアーについて、予め雨天時の用の行程を決めておく 3.防災の取り組みは主にビジターセンターである男鹿市GP学習センターでパネル展示 や実験という形で行われている。	地域振興	観光振興	教育振興	防災	他GPとの 連携・交流	
						専門員0人:国際交流員0人:専任0人		2	3	2	1	2	
箱根	箱根町長	2011年5月16日	有	13,750,000	1.頒布物作成費 2.広報活動費 3.解説看板等整備費	4人	1.各市町に教育部会や観光部会等の担当をもらい、箱根GPに関わっている自覚を もたせている。 2.ジオサイトマップやコースガイドブックを作成し、駅の構内や各拠点に設置し、GPの普 及活動に勤めている。 3.箱根GP全体のジオストーリーを語ることのできるガイドの養成を行っている。	普及活動	観光振興	教育振興	ガイド養成		
						専門員0人:国際交流員0人:1人		3	3	2	2		
佐渡	佐渡市長	2011年5月11日	有	13,138,000	1.賃金 2.旅費 3.委託料	9人	1.定期的な部会議の開催を試みている。 2.来年度からガイド協会が自立運営できるよう調整している。 3.パンフレット類、看板類などを一般人にも読みやすく理解しやすいものへ随時変更を 行っている。	教育活動	調査研究				
						専門員2人:国際交流員0人:2人		5	5				
銚子	銚子市長	2011年10月20日	有	5,911,000	1.ビジターセンター職員 人件費 2.PR活動費 3.イベント開催費	4人	1.一般人向けの銚子GP講座の開催 2.役所の職員向けの銚子GPニュースの発行 3.保全部会を設立し、地域の有識者で屏ヶ浦を含めたジオサイトの保全について議 論し、市内全ての小学生に実施している校外学習でこの問題を提起している。	地域振興	教育振興	防災	保全	その他	
						専門員2人:国際交流員0人:4人		3.5	3.5	1	1	1	
伊豆半島	伊豆市長	2011年3月28日	有	72,480,000	1.企画広報宣伝事業 2.ジオパーク利活用事 業 3.調査研究事業	11人	1.各市町の教育委員会や学校長の会議に出向き、地域学習にGPを活用できる旨を案 内している。 2.小中学校の教育を積極的に行うことや各種の講演を行うことで、その親世代への浸 透を目指している。 3.認定ガイド制度を設定しジオツーリズムに対応できるガイド育成を行っている。	地域振興	観光振興	教育振興	防災	その他	
						専門員3人:国際交流員0人:10人		2	2	3	1	2	
八峰白神	NPO法人白神 ネイチャー協 会長	2010年5月7日	有	12,686,000	1.学習啓発事業 2.人材育成事業 3.広報活動事業	7人	1.運営体制について、自治体を中心とした組織運営体制を新たに構築する予定 2.GPに携わる様々な関係者がテーマやストーリーづくりを行う場を設ける 3.マスタープランに基づき、計画的に看板等の設置を進めるなど、可視性の向上に努 めている。	研究活動	保全・管理	教育振興	観光振興	情報発信	
						専門員1人:国際交流員0人:4人		1	2				
						地域連携		防災・減災					
四国西予	西予市長	2012年7月13日	有	3,000,000	1.委託料 2.旅費 3.負担金	3人	1.旧町の各種団体等において出前講座を実施し、GP活動の紹介を行っている。 2.ジオサイトが無い地域において、地域の宝を見つけるフィールドワークを開催し、地 域内でのGP活動を推進している。 3.各分野での担当者内での協議を定期的に開催し、GP活動の各分野での展開を広げ るよう進めている。	地域振興	観光振興	教育振興	防災	その他	
						専門員1人:国際交流員0人:2人		3	2	3	1	1	
ゆざわ	湯沢市長	2011年3月29日	有	25,056,000	1.推進協議会運営費 2.ゆざわジオパーク普 及活動費	7人	1.ガイドスキルアップ講座にてジオストーリー構築のためのカリキュラムを設定し、ガイ ドに考え方が定着するよう努めている。 2.組織体制強化検討委員会を設立し、運営体制の強化策を策定した。 3.連携している秋田大学や研究者、機関が調査・研究しやすいように、協議会より幅広 く研究テーマの情報提供を行い、調査に同行する等の支援を行っている。	学習推進	観光振興	広報・啓発	受入態勢整 備	学術調査 研究	
						専門員2人:国際交流員0人:6人		3	1	1	2	1	
						保護・保全		ネットワー ク推進					
							0.5	1.5					

下北	むつ市長	2013年1月28日	有	21,445,000	1.農泊推進事業 2.東北フォーラム開催費 3.理解促進事業	13人	1.持ち回りで自治体担当者会議の実施。ジオサイト見学も兼ね、毎月実施 2.イベント情報や見どころ、活動報告を記載した月間通信の作成と配布。 3.認定商品制度によるGPの認知度向上、ブランド化を図っている。 4.認定ガイド養成講座によるガイド育成や、既存施設へのGPコーナーの増設や展示の充実に取り組んでいる。	プロモーション	理解促進	教育保全	国際交流		
					専門員2人:国際交流員0人:専任8人	2		3	4	1			
筑波山地域	つくば市長	2012年8月23日	有	5,090,000	1.関東大会開催補助 2.旅費 3.ジオガイド養成費	26人	1.拠点施設について、つくば市内の小中学校廃校跡の活用を検討中(H31年度予算取りを現在行っている。 2.事務局体制の強化については、協議会総会や構成自治体市長レベルで話し合いを継続して行っている。 3.看板について、構成自治体が6市にまたがっていることもあり、トータルデザインを策定し統一感を出す工夫を行った。	観光振興	地域振興	教育振興	保全活動	その他	
					専門員1人:国際交流員0人:専任5人	2		2	2	2	2		
浅間山麓	嬬恋村長	2014年3月25日	有	7,600,000	1.委託費 2.広報宣伝・情報発信費 3.旅費交通費	7人	1.町村の区長会、婦人会に出向いてGPの理解を促す出前講座を準備 2.小中学校・地元高校の支援依頼に取り組むことで、地域や親世代への浸透を目指す。 3.準備出来次第、順次看板を設置。ホームページの見直し、パンフレットの多言固化。	地域振興	観光振興	教育振興	その他		
					専門員2人:国際交流員0人:専任5人	3		3	3	1			
鳥海山・飛鳥	にかほ市長	2015年3月24日	有	35,215,000	1.協議会事務局経費 2.受入態勢整備事業 3.情報発信事業	6人	1.総合学習に活用できる学習補助教材を整備し、指導者向け勉強会開催し、教育現場でのGP活動の持続性を考慮し、元教員やガイドの派遣態勢を整備 2.認定商品、産業助成補助金制度を整備。 3.地域住民や研究者、行政などが、貴重な遺産の保護・保全に対する供つ認識を持ち、その地域にあった活動の進め方を考えるフォーラムを毎年開催	環境保全	受入態勢整備	産業振興・観光誘客	教育活動	調査研究	
					専門員1人:国際交流員0人:6人	4		1.5	1.5	1.5	1.5		
島根半島・宍道湖中海	松江市長	2016年3月27日	有	24,000,000	1.調査研究交流事業 2.広報宣伝事業 3.普及啓発教育活動	10人	1.交通会社等と協議を行い、路線の延長を検討していただいている。またレンタルモーター車を配置するなど、課題解決に向けた取り組みを行っている。 2.ビジターセンターの整備や駅前の案内所にPR事業コーナーを設置 3.ガイド養成講座を毎年開き、また試験も行って認定ガイド増やしていくよう取り組んでいる。	地域振興	観光振興	教育振興	防災	その他	
					専門員2人:国際交流員0人:専任3人	4		3	1	1	1		
萩	萩市町	2015年4月30日	有	17,987,000	1.人材育成 2.情報発信 3.普及啓発活動	6人	1.ポトムアップを前提に、阿武町及び山口市阿東の職員研修を開催し、その次に地域住民説明会を行った。 2.GP関連イベントやツアー等において子どもからお年寄りまで幅広く楽しめるプログラムとし、周知を図っている。また、ジオガイド養成などは積極的に若い世代への募集を働きかけるなど、年齢層の拡大を図っている。	普及啓発	情報発信	人材育成	その他		
					専門員1人:国際交流員0人:6人	3		3	3	1			
茨城県北	茨城大学長	2009年10月14日	有	1,300,000	1.広報宣伝費 2.ガイド養成・補助費 3.JGN経費	3人	1.各市町村長等が集まり、GPIについての懇談会を設ける。 2.各市町村担当者が集まり、GPIについて議論する機会を設ける。 3.各ガイド団体が集まり、GPIについて議論する機会を設ける。 4.GP活動の中心になる市町村職員、民間企業職員、ガイドが集まり、GPIについて議論する機会を設ける。						
					専門員1人:国際交流員0人:専任3人								
古関東深海盆													
蔵王	蔵王町長	2013年4月1日		1,158,000	1.使用料 2.旅費 3.負担金	1人	1.蔵王連峰を取り巻く、白石市、山形市、上山市、蔵王町、川崎町、七ヶ宿町の3市3町で構成する会議の場でGPの取り組みについて説明を行い、賛同を求めるなど取り組んでいますが、意見がまとまらない状況にある。						
					専門員0人:国際交流員0人:専任1人								
飛騨山脈	高山市長	2016年12月26日		15,390,000	1.各種事業等実施費 2.事務局費 3.講演会等普及啓発費	4人	1.学校、各種団体などGPの普及啓発として出前講座等を実施 2.行政連絡会議の開催や行政担当者との連携強化 3.地形地質サイトを巡るツアーや講演会の開催、周知用資料の作成と配布、市広報誌でのジオサイトの紹介						
					専門員1人:国際交流員0人:専任4人								
北九州													
土佐清水	土佐清水市長	2015年2月27日	有	7,814,000	1.活動費(ツーリズム関連) 2.事務局費	5人	1.毎月1回定期的に専門員が中心となって地域住民と気軽に対話できる場を設け、住民の関心、疑問などにアンテナを張り、GPの普及をしている。 2.ガイド認定制度を設け、ツアーを企画・実践できるガイド育成を図っている。 3.地域に伝わる郷土料理と大血の繋がりを住民と共に見出し、料理ごとのストーリーを楽しめる「ジオ弁当」の販売を通じて地域との連携に取り組んだ。	地域振興	観光振興	教育活動	保全	その他	
					専門員2人:国際交流員0人:専任5人	3		2	3	1	1		
月山	鶴岡市長	2015年3月24日	有	13,147,000	1.事業検証委託費 2.情報発信事業 3.人材育成事業	15人	1.H28年に日本ジオパーク新規認定審査「見送り」となり、H29年4月に事務局が移転し、同年10月に会長が交代しました。審査時に指摘された課題の解決もままならない状態で事務局が移転となり、再申請に向けた活動を継続していましたが、会長交代に伴い活動方針が見直され、H30年度は改めて取り組みの検証を行い、検証結果に基づく今後の判断を行うものとなりました。						
					専門員1人:国際交流員0人:専任2人								
十勝岳	美瑛町長	2015年4月14日	有	5,780,000	1.専門部会活動費 2.旅費交通費 3.事務費	6人	1.協議会としての活動を基本的に専門部会にて提案・計画・実施などを進め、各専門部会の部会長が手動した活動を推進する体制を整備した。 2.ジオカフェなど2町の住民が交流する場を用意し垣根を越えた活動を推進 3.ジオガイド養成の他に、ガイド活動はしないがGP活動を支援するジオサポーター制度を設け、各種養成講座を企画・実施した。	地域振興	観光振興	教育振興	防災	その他	
					専門員0人:国際交流員0人:専任2人	1.5		1.5	2	3	2		

三宅島														
東三河	新城市 企画部長	2016年5月9日		1,655,000	1.ジオガイド養成 2.ジオツアー展開 3.情報発信情報収集	4人 専門員0人:国際交流員0人:専任0人	1.モデルコースを確立し、旅行者を対象としたモニターツアーなどを計画していきい。	地域振興	教育振興	観光振興				
								4	3	3				
中央アルプス														
那須烏山	那須烏山市長	2016年8月24日	有	9,907,000	1.教育活動事業 2.人材育成事業 3.情報発信事業	3人 専門員0人:国際交流員0人:専任0人	1.地域住民向け講座、体験教室等の実施により子どもから大人まで幅広く学習する機会を提供 2.学校用ジオサイトを中心としたガイド養成講座を実施 3.小中学校における校外学習の実施に伴うジオガイドの試験的導入	地域振興	歓呼振興	教育振興	防災	その他		
								3	1	5	0.5	0.5		
三好市	三好市長	協議会未設立					今年度の事務局内での活動をもとに来年度以降の協議会設立を検討する予定である。夏以降より市民がジオガイドとして活動を始めている。現在4名であり、今年度中に組織体制の確立を目指している。日本語版パンフレットを製作した後、多言語パンフレット製作にむけて検討していきたい。当市の第二次総合計画にGP事業を行うことは明記されているが、具体的な事業内容が記述されていないため、具体的な活動計画案をどうしていくかを検討し遂行したい。	地域振興	観光振興	教育振興	防災	その他		
								6	0.5	2	0.5	1		
五島列島	五島市長	2017年6月13日	有	8,300,000	1.普及啓発事業 2.宣伝資材作成事業 3.調査研究事業	4人 専門員1人:国際交流員0人:専任3人	1.協議会発足前から活動している民間団体と連携して、各地区ごとに住民を対象にした集会や、ジオサイト候補地を回るツアーを開催している。そのせいかとして、ジオサイト広報地を紹介した簡易パネルを作成し、周知活動に活用している。							
飛騨小坂														
上川中部	旭川市長	2018年8月21日	有	3,050,000	1.消耗品費 2.旅費 3.諸謝金	4人 専門員0人:国際交流員0人:専任0人	1.協議会構成員を対象とした地域内のジオサイト候補地見学会 2.協議会構成員を対象とした認定地域の視察 3.住民を対象としたジオツアーの開催 4.住民対象としたフォーラムの開催 5.地域おこし協力隊を活用した専門員の募集							